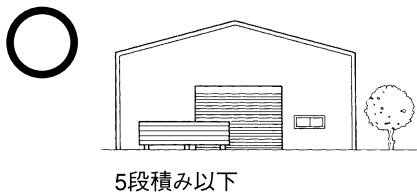


雨といたの取り扱いたのご注意

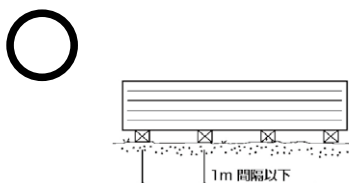
1. 保管

■変形するおそれがありますので下記のご注意事項を守ってください。

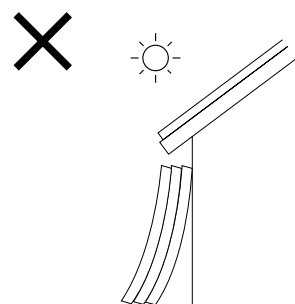
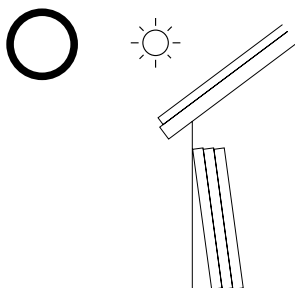
①日陰で、雨水のかからない平らな場所に、5段積み以下で保管してください。



②枕木を使う場合には、90mm角以上の枕木を、1m間隔以下に、平らに並べてください。



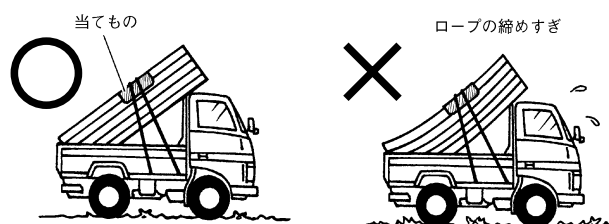
③日陰で、雨水のかからない平らな場所に、のきといたがたわまないようにたてかけてください。



2. 運搬

■変形するおそれがありますので下記のご注意事項を守ってください。

①平らに積んで、荷崩れ防止対策を施してください。やむを得ず、斜めに積む場合には、ローブ掛け部分に当て物をして、部分的な変形を防いでください。



②日が当たる場合には、シートで覆ったままで、1時間以上の駐車はしないでください。又、部品を運転席に置いたままで、駐車はしないでください。



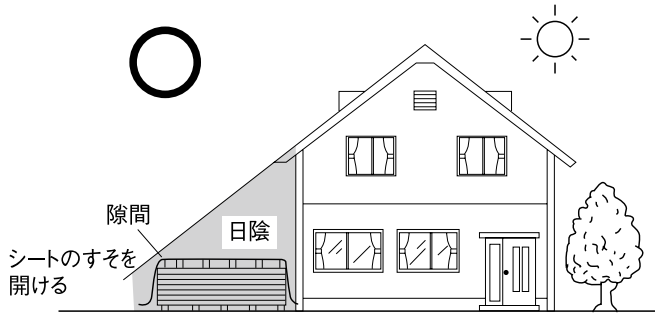
③投げたり、落としたり、ぶついたりしないでください。



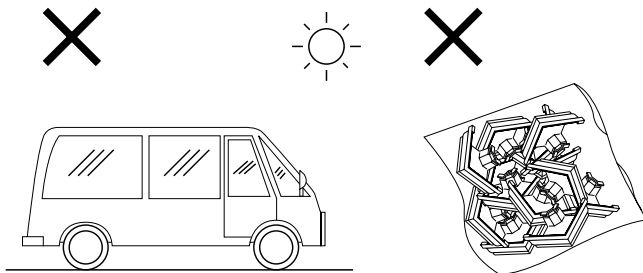
3. 工事現場での保管

■変形するおそれがありますので下記の注意事項を守ってください。

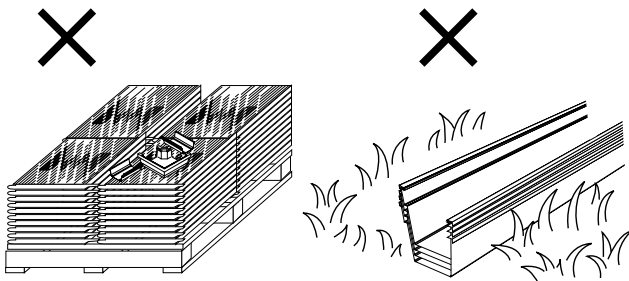
- ①日陰で風通しのよい平らな場所に、置いてください。
シートをかぶせる場合には、通風のための隙間を設けてください。



- ②日が当たる場合には、車内に置かないでください。
又、ポリエチレン袋などに入れたまま日に当てないでください。



- ③日が当たる瓦、草むら、金属板などの上には、置かないでください。



4. エスロン接着剤の取扱い

皮膚に付着したり、蒸気を吸入すると皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから、製品安全データシート(SDS)や取扱説明書などを確認の上、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

1. 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けること。
2. 容器から出し入れするときは、こぼれないようにすること。
3. 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ等を着用すること。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分行うこと。
5. 容器のフタを密閉し、直射日光の当たらない、5～35℃の一定の場所を定めて保管すること。
6. 皮膚についた場合は、速やかにふきとり石鹸と水でよく洗うこと。かゆみや炎症が残った場合は医師の診断を受けること。
7. 万一眼に入った場合や、蒸気を吸って気分が悪くなった時、又は、誤って飲み込んだ場合には、速やかに医師の診断を受けること。
8. 火気のあるところでは使用しないこと。
9. 本来の接着用途以外には絶対に使用しないこと。

5. その他

- ①塩化ビニル樹脂は難燃性、自己消火性ですが、燃焼させた場合は塩化水素ガス等が発生し、目、鼻、のどなどの粘膜を刺激し、また草木を枯らすこととなりますので、焼却しないでください。
- ②エスロン雨といは、屋根、バルコニー、ベランダなどの雨水を排水するために、使ってください。
- ③エスロン雨といは不燃物ですので、切れ端などを廃棄する場合には、粗大ゴミ、又は産業廃棄物として処分してください。

雨といたの取り扱いのご注意 (カラーパイプ)

安全上の注意

安全かつ適切に使用していただくために、必ずお守りいただく表示と意味は以下の通りです。

- ▲ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いすると、使用者が死亡、または重傷を負う危険性が想定される内容が記載されています。
- ▲ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いすると、使用者が障害を負う危険性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

1. 運搬上の注意

▲ 警告

- 手袋を着用
作業時は、けが防止のために、必ずすべりにくいゴム引き手袋を着用してください。
- 管の上には乗らない
塩ビ管の表面は滑りやすく、事故の原因になるので、管の上には乗らないでください。
- 取扱はていねいに
トラックへの積み込み、積み降ろし時には、塩ビ管を投げ込んだり、引きずったりしないでください。管の傷つき、破損防止ケガ防止のためにていねいに扱ってください。
- 管の吊り上げ吊り下ろしに注意
クレーン付トラックなどを使用するときは、ケガ防止のために吊りバランスに注意してください。
- 安易な荷扱いは危険です
塩ビ管は、大口径管あるいは管の結束単位によっては重くなります。ケガ防止のために、荷扱いには注意してください。
- 運送中の荷くずれ防止
ロープのゆるみやはずれによる管の落下等に十分注意してください。

▲ 注意

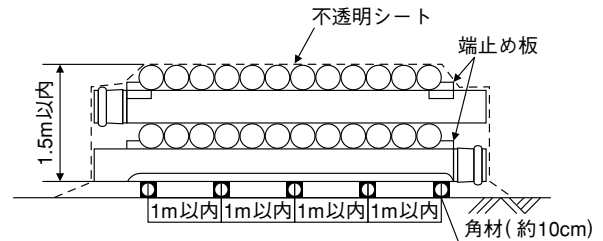
- クッション材を活用
管の傷つき、変形防止のためにトラックの荷台との接触部、ロープの固定部などには、クッション材をあててください。

2. 保管上の注意

▲ 注意

- 屋内に横置き
塩ビ管の反り、変形防止するため、平坦な場所に井げた積み、または千鳥積みにして保管してください。
また、端部には必ず荷くずれ防止の端止め材を施してください。

- ◆ 屋内に横置き
(呼び径 150 以下)



- 立てかけ保管の場合
やむをえず立てかけ保管する場合は、安全確保のために、ロープかけなどの転倒防止策を施してください。
- 屋外保管の場合
屋外で保管する場合は、塩ビ管の反りや変形などを防止するために、簡単な屋根を設けるか、不透明シートをかけて直射日光を避けるようにしてください。シートがけの場合は風通しがよくなるように注意してください。
- 継手の保管
継手の変形やよごれを防止するため、屋内保管を原則としてください。特に、高温 囲気下 (夏場の車内等) は、継手の変形するおそれがあるため、さけてください。

3. 施工上の注意

▲ 警告

● 水試験

硬質塩化ビニル管路の漏れ試験及び耐圧試験を行う場合は必ず水圧で行ってください。空気圧試験は、継手が飛んだり破片が飛散する場合があります、たいへん危険です。

▲ 注意

●適切な工具の使用

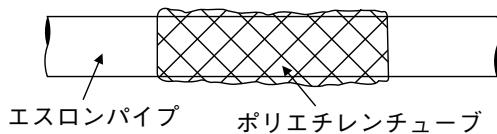
正しい施工と安全のために、切断・せん孔・接合などの作業に用いる工具は、適切な仕様品を選択してください。また、それぞれの取扱説明書の内容十分理解したうえで使用してください。

●接着接合時の注意

接着接合にあたっては、接合後の管路内の換気を充分行ってください。接合後管路を密閉状態にすると、ソルベントクラッキングという接着剤中残在溶媒蒸気によって塩ビ管に小さな亀裂が発生する恐れがあります。特に冬期配管の場合は媒体が蒸発しにくいのでご注意ください。また接着接合では、熱伸縮による管の抜けや破損を防止するために、伸縮継手を設置してください。接着剤は塩ビ用接着剤（エスロン接着剤 No73）をご使用下さい。

●有機薬品に注意

塩ビ管・継手は、有機溶剤に対して材質的に侵されるおそれがあります。クレオソート（木材用防腐剤）、シロアリ駆除剤、殺虫剤、塗料などに接触させないでください。また、管・継手が浅く埋設されている場合、これらの化合物を地面にこぼすと地中の浸透して管・継手が侵されることがありますので、十分注意してください。例えばポリエチレンチューブで保護してください。



●生曲げの禁止

管の生曲げを行うと歪みが残り、破損事故の原因となる恐れがあるので、管の生曲げは行わないでください。曲がり配管を行う場合は、必ずベンドなどの継手を使用してください。

●現場での加熱加工は禁止

施工現場での管の加熱加工は、管が焦げたり焼けたりして、強度が低下する恐れがあるので、決して行わないでください。

●塩ビ管・継手のねじ切りの禁止

塩ビ管はノッチ効果が大きく、亀裂や切り欠きがあると強度が低下するため塩ビ管・継手に直接ネジを切らないでください。

●シーリング剤の使用

配管が壁、床等を貫通する際に使用されるシーリング剤には、硬質塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤（フタル酸エステル、DOP等）や有機溶剤（キシレン、トルエン等）を含む物（ポリウレタン系シーリング材等）がありますので、成分をご確認の上ご使用ください。

（推奨商品：積水フーラー社製 シリコン系シーリング材、変性シリコン系シーリング材）

4. 塩ビ管・継手廃材について

▲ 警告

●現場焼却の禁止

塩ビ管・継手は現場焼却しないでください。有害な塩化水素ガスが発生し、たいへん危険です。

●法令に従った処理を

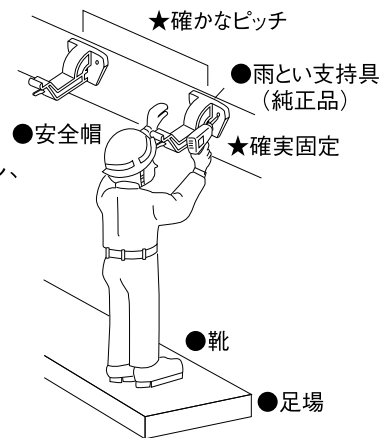
塩ビ管・継手の残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。なお、残材や廃材はハンマーなどによる破碎は、破片が飛散し危険です。

安全上のご注意

施工前に必ず、施工説明書（製品に同包装）をお読みのうえ、正しく施工してください。
この製品は、専門的な施工が必要です。施工の際は必ず専門工事店にご依頼ください。

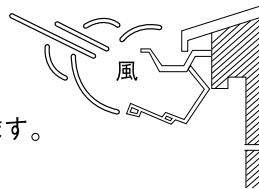
ケガや事故防止のため、下記のことを必ずお守りください。

- 雨とい施工は、高所作業になります。転落、事故防止のため高所作業用の足場及び正しい服装と保護具を着用してください。
→転落等によるケガの恐れがあります。



- 雨とい支持具は、純正品を使用し、鼻隠し板、垂木、柱等の指定箇所に確実に固定し、雨といは支持具へのセットを忘れないようにしてください。

- 強風及び積雪地域では、弊社の強風及び積雪工法を実施してください。
→飛散及び落下による二次災害をおこす恐れがあります。



- 雨とい接着剤は、純正品を使用し、使用時は接着剤に記載の「取扱い上の注意事項」をお守りください。
→有機溶剤による中毒の恐れがあります。



- 雨といの廃材を焼却しないでください。
→発生ガスによる中毒及びガス飛散による二次災害をおこす恐れがあります。



- 雨とい以外の用途に使用しないでください。

その他のご注意（お客様へ）

- のきとい、たてとい支持具へテレビアンテナ控線、物干紐等を固定しないでください。
- 軒先への梯子掛けは、支持具外れ、雨といの変形、梯子外れをおこす恐れがありますので、雨といに直接当たらないようにご注意ください。

次の不具合が発生した場合、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 天変地異、特異的環境等による損傷、経年変化による変色、汚れ等が発生した場合。
- 入居者の維持管理不足や、入居者又は、第三者の故意、過失により不具合が発生した場合。
及び、のきとい、たてとい、支持具へ物をぶら下げ、又は、テレビアンテナ控線等の固定で不具合が発生した場合。
- 変形、割れ、外れ等を発見後、速やかに届け出がされなかった場合。
- 建造物の構造が原因で、変形、割れ、外れ等による不具合が発生した場合。
- 施工業者による施工、取扱いが原因で不具合が発生した場合。